



## I 第14週の発生動向 (2021/4/5~4/11)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。

## II 第14週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															0
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13			25	2.50			19	3.17	1	0.25	46	1.10	4
	咽頭結膜熱							1	0.20					1	0.02	-2
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	5	0.63	5	0.56	2	0.20					1	0.25	13	0.31	4
	感染性胃腸炎	29	3.63	12	1.33	75	7.50	29	5.80	23	3.83	6	1.50	174	4.14	34
	水痘	1	0.13					2	0.40			3	0.75	6	0.14	5
	手足口病															0
	伝染性紅斑							1	0.20					1	0.02	1
	突発性発しん	3	0.38	3	0.33	1	0.10	1	0.20	4	0.67			12	0.29	0
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎											1	0.25	1	0.02	-1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	0
	無菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

## 感染症の窓



レジオネラ症は、自然界に存在するレジオネラ属菌が原因の感染症です。急激に重症化するレジオネラ肺炎と、一過性のポンティアック熱に分けられます。

レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状のほか、発熱、咳、胸痛、呼吸困難がみられ、意識障害、幻覚、手足の震えなど中枢神経系の症状や下痢も特徴とされます。適切な治療をしないと急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。これに対して、ポンティアック熱は、発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、自然に治癒します。

全国では2020年に報告数が減少したものの概ね増加傾向にあり、青森県では2020年には過去最高の年間17人の報告がありました(図)。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染された目に見えない細かい水滴(エアロゾル)を吸い込むことで感染します。レジオネラ症を予防するため、加湿器や循環式浴槽などを定期的に洗浄、塩素消毒等を行い、衛生管理に努めましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞ [レジオネラ Q&A\(厚生労働省 HP\)](#)

## レジオネラ症(四類感染症 全数把握)

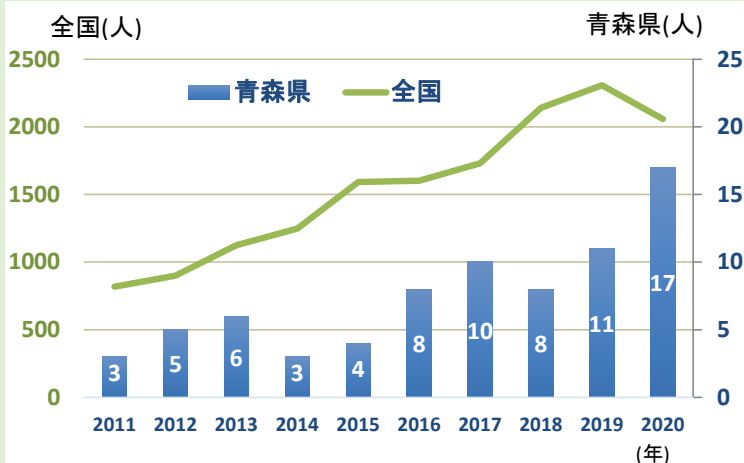


図: 青森県及び全国のレジオネラ症患者報告数推移 (2011年~2020年)

[レジオネラ症 Q&A](#)



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：弘前1人、上十三2人 (2021年計：44人)
- ・レジオネラ症（四類感染症）：弘前1人 (2021年計：4人)
- ・後天性免疫不全症候群（五類感染症）：青森市1人 (2021年計：2人)

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2021年第11週～第14週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
11	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人					
12						
13		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				
14	後天性免疫不全症候群1人	レジオネラ症1人				

### Ⅵ 結核(二類感染症)（2021年第11週～第14週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
11				1	1	
12	1	3	2		1	
13		2		2	1	
14		1			2	

- ・第13週に五所川原保健所管内で結核1人の届出がありましたので、追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2021年第1週～第13週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病	回歸熱	重症熱性血小板減少症候群	つづが虫病	
累積報告数	3662	4	213	146	20	5	1	2	15	64	

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	
累積報告数	12	1	3	4	274	2	134	50	414	5	

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	
累積報告数	81	1	36	171	235	11	58	291	65	1	

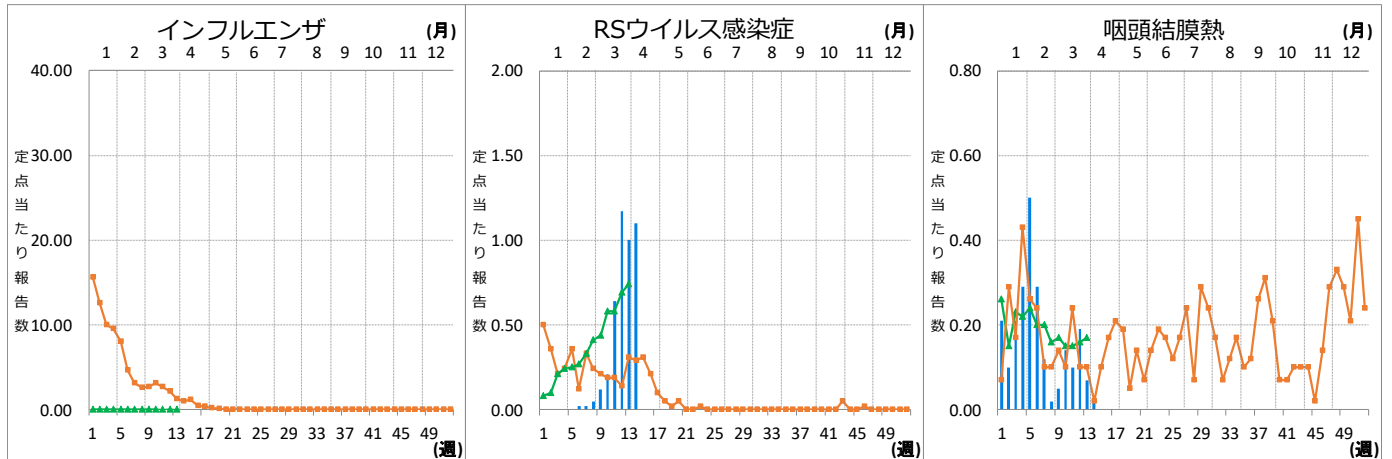
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	1475	31	19	23	154	5

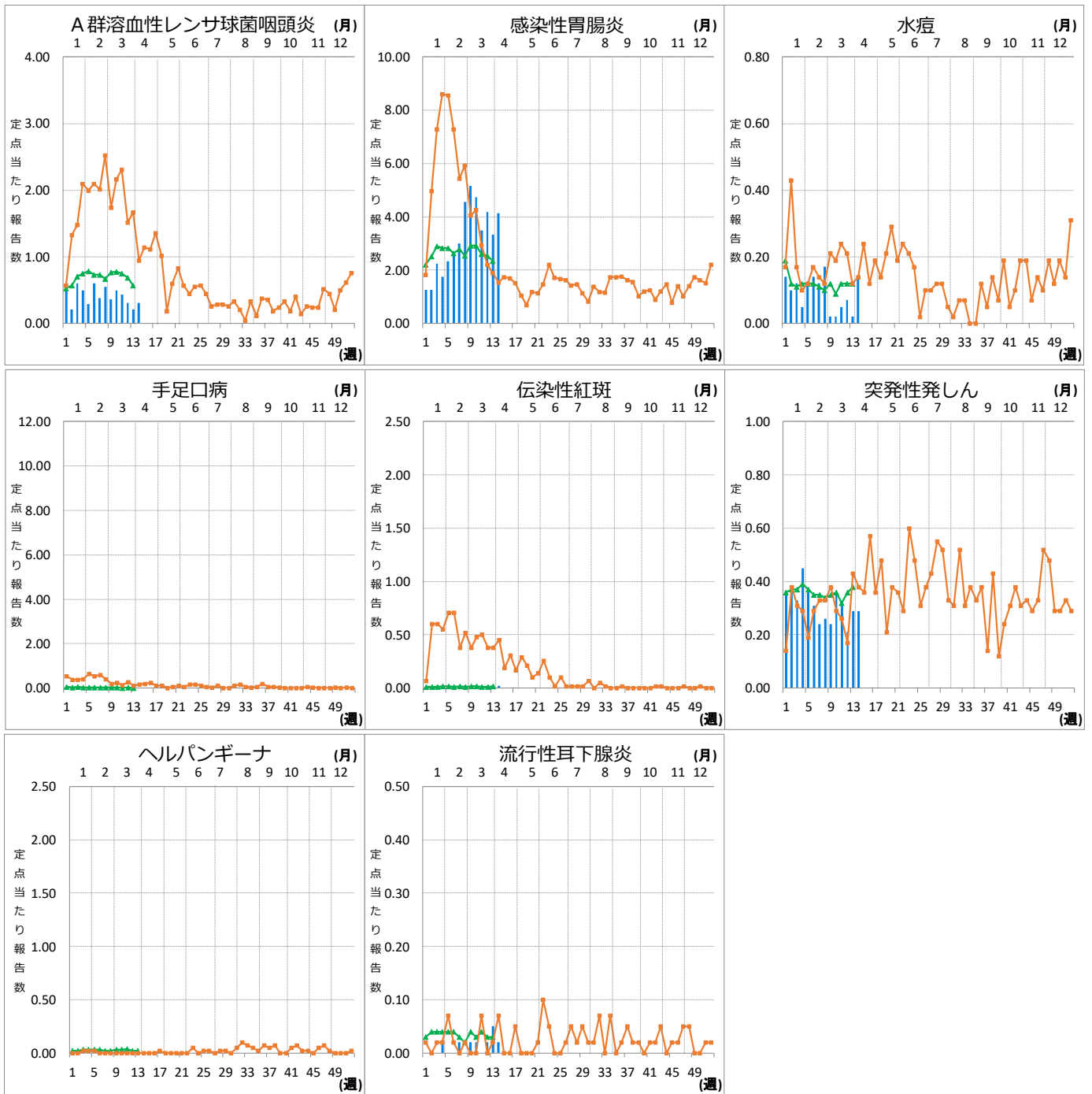
青森県（2021年第1週～第14週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳
累積報告数	44	1	4	17	1	2	1	1	4	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2021年第14週、ただし全国は前週）

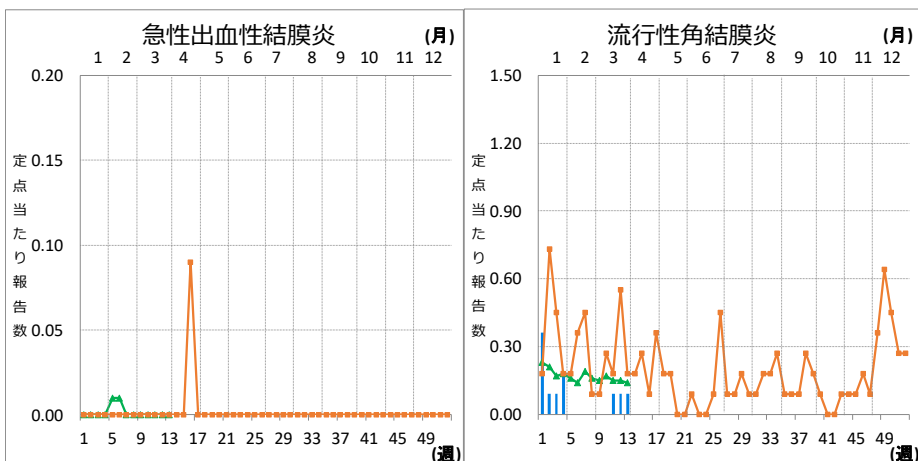
グラフの説明 ← は2021年青森県、■は2020年青森県、▲は2021年全国





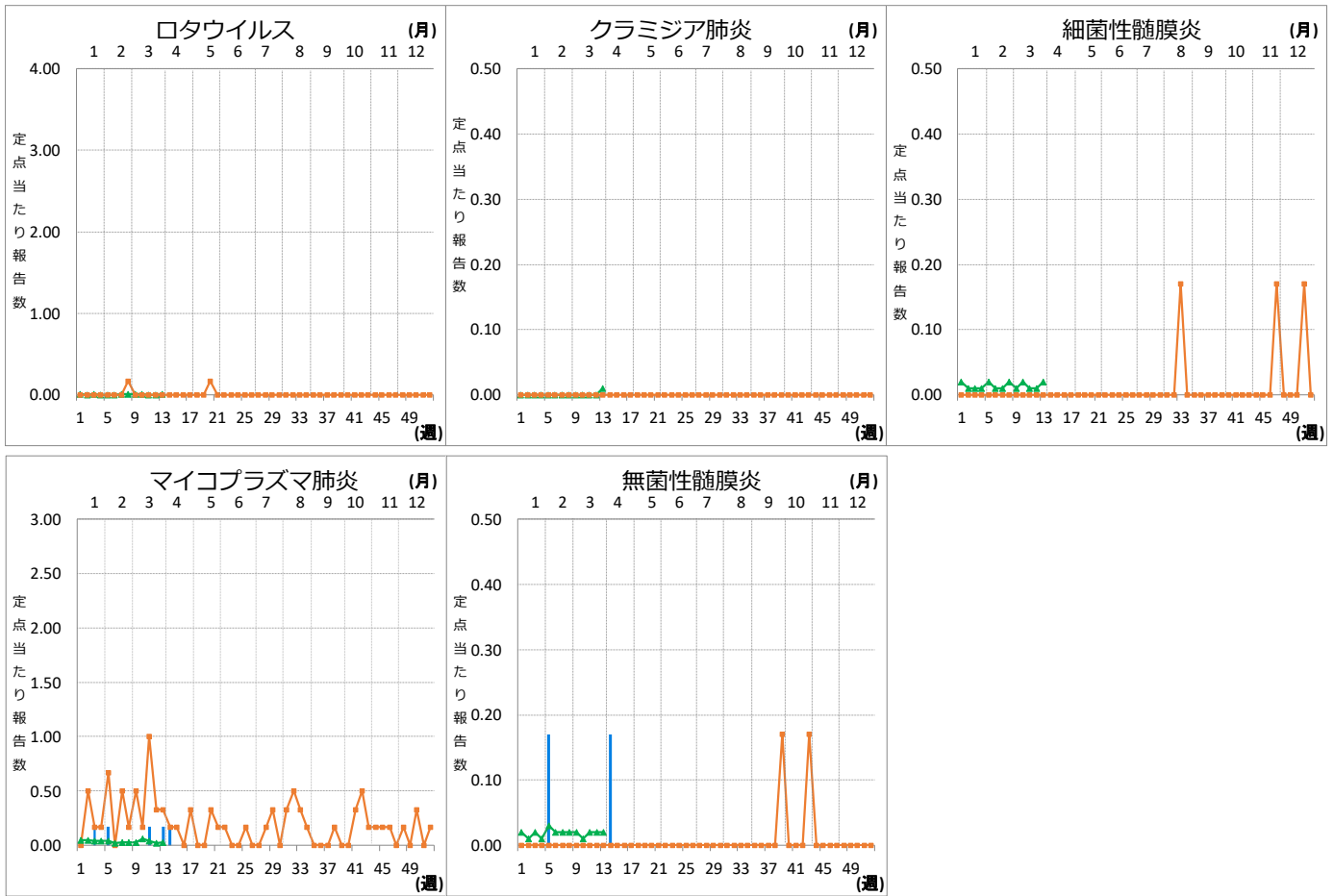
**Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2021年第14週、ただし全国は前週)**

グラフの説明 —は 2021年青森県、 ■——■は 2020年青森県、 ▲——▲は 2021年全国



## X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2021年第14週、ただし全国は前週）

グラフの説明 → **青森県**は2021年青森県、**青森県**は2020年青森県、**青森県**は2021年全国



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

### 2021年第14週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第14週	児童・婦人関係施設等	11	八戸市保健所

### 2021年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)				計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13週14週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	7	6	1	15
	発症者数	0	195	104	47	357
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	7	6	1	15
	発症者数	0	195	104	47	357